

# 別人誤認登録さらに60件

## マイナ保険証 4件は他人が閲覧

マイナンバーカードを巡回するトラブルで厚生労働省は13日、健康保険証として使う「マイナ保険証」に他の情報がひもづけられた誤登録が新たに60件見つかったと明らかにした。うち4件は受診履歴や薬剤情報などが他人に閲覧されていた。

マイナ保険証の誤登録について同省はこれまで、2021年10月～22年11月に7312件あったと公表。今回は22年12月～23年5月22日分で、確認された誤登録は計7372件（うち第三件）となつた。

一方、マイナカードにかかる政府のサイト「マイナポータル」で、

他の年金記録が閲覧された問題を受け、松本剛明総務相は13日の会見で、全国の共済組合にてタの総点検を指示したと明らかにした。

総務省などによると、「タの総点検を指示した」と明らかにした。

年金情報が他人に閲覧されたのは、北海道庁元職員で地方職員共済組合に加入していた女性。一昨年未に共済組合の職員として点検を要請。7月末までの報告を求めていた。

個人情報保護法違反の疑いがあるとして、年金記録を管理する日本年金機構（厚労省所管）においては同日、加藤勝信厚労相が「マイナンバーのひもづけ誤りの事例は生じていない」と述べた。（村井隼人、千葉卓朗）

マイナ保険証の誤登録について同省はこれまで、2021年10月～22年11月に7312件あったと公表。今回は22年12月～23年5月22日分で、確認された誤登録は計7372件（うち第三件）となつた。

一方、マイナカードにかかる政府のサイト「マイナポータル」で、

マイナ保険証の誤登録について同省はこれまで、2021年10月～22年11月に7312件あったと公表。今回は22年12月～23年5月22日分で、確認された誤登録は計7372件（うち第三件）となつた。

年金情報が他人に閲覧されたのは、北海道庁元職員で地方職員共済組合に加入していた女性。一昨年未に共済組合の職員として点検を要請。7月末までの報告を求めていた。

個人情報保護法違反の疑いがあるとして、年金記録を管理する日本年金機構（厚労省所管）においては同日、加藤勝信厚労相が「マイナンバーのひもづけ誤りの事例は生じていない」と述べた。（村井隼人、千葉卓朗）